

拠点校だより

江戸川区立清新第二中学校
校長 白石 亨
第 5 号
令和 4 年 1 月 1 7 日 (月)

2022

今年もよろしくお祈りします



あけましておめでとうございます。昨年は保護者研修会や専門家相談へのご参加、評価面談の日程調整等、指導へのご理解ご協力をくださりありがとうございました。3学期も引き続き、一人ひとりの課題に応じた指導を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2学期最後の巡回指導では、「2学期の振り返り」「冬休みの目標」についてのワークシートに取り組みました。「2学期の振り返り」では頑張ったことや反省点を考え、自分自身を振り返る活動を行いました。「冬休みの目標」では冬休みの目標を設定し、その目標を達成するために、冬休みの予定を計画しました。「家のお手伝いをできるようにする」「提出物を早めに終わらせるために計画を立てる」「健康に生活する」など一人ひとりが思い思いの目標を立てることができました。みなさんは立てた目標を意識して過ごせましたか？それとも計画を立てたことすら忘れて、自分の好きなことばかりやってしまう生活になっていましたか？3学期は短いですが、来年度の進学、進級のための良い準備ができるようにしていきましょう。

保護者研修会の報告

12月23日(木) 9:30~10:30に清新第二中学校にて「発達障がいのあるお子様に対する適切なご家庭での支援」「地域での支援」の2つをテーマとして、今年度2回目の保護者研修会を行いました。今回は江戸川区発達相談・支援センターの発達相談室「なないろ」から熊仁美先生をお呼びして、ご講演いただきました。講演後、保護者の皆様からは「とてもためになりました」「勉強になりました。またお願いします。」などの感想をいただき、充実した時間を共有できたことと思います。また、質問事項や気になること、意見などを書いてくださった方も多数いらっしゃいました。裏面に熊先生からご回答いただいた内容を記載しましたので、ご覧おきください。



専門家相談の報告

12月21日(火) 14:00~16:00に清新第二中学校にて前回同様、両国発達支援センターの松村裕美先生をお招きして、今年度2回目となる専門家相談を行いました。相談時間は1組あたり15分間という短い時間でしたが、充実した時間を過ごすことができました。進路や家庭での支援、自信のつけさせ方、医療機関の紹介など様々なご相談があったようでした。

今回も希望者多数だったため、残念ながらご参加いただけなかった方もいらっしゃいました。大変申し訳ありませんでした。



★今後の予定★

1月17日(月) ~ 1月21日(金)	3学期巡回指導 開始週	
3月 7日(月) ~ 3月11日(金)	3学期巡回指導 終了週	(3年面談期間)
	3月18日(金)	卒業式
	3月25日(金)	修了式
	3月26日(土) ~ 4月5日(火)	春休み期間

★お知らせとお願い★

【次年度の特別支援教室について】

昨年末の面談で「次年度の継続・終了の希望調査」「次年度から指導期間が原則1年間になること」「不登校傾向のあるお子様は対象から外れてしまう可能性があること」についてご説明させていただきました。お気づきの点やご不明点等ございましたら、在籍校特別支援教育コーディネーター、もしくは巡回指導担当教員までお知らせください。

印鑑のご用意を
お願いいたします。

【連携型個別指導計画評価の面談】

2月末から3月にかけて、今年度最後の連携型個別指導計画の評価の面談をさせていただきます。2月上旬に面談の詳細のお知らせをお配りする予定です。その用紙をもちまして、日程調整をいたしますので、期日までのご提出をよろしくお願いいたします。

3学期も保護者の方や在籍校の先生方と連携して指導にあたり、お子様の成長をともに支援していきたいと思っております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【保護者研修会アンケートで寄せられた質問・意見・感想】

保護者の方

教えてもらったことを実践して、(お子さんが) 取り組みなかったときの親のモチベーションの保ち方

熊先生

やってみただけでできなかった＝その指導法が特性に合っていないのかも、という貴重なヒントにもなりますので、それをもとに、次はまた違ったアプローチをしてみる、ということにつなげていけるとよいですね。1人で頑張りを続けるのは本当に大変ですので、頑張ったのにもうまいか、モチベーションが下がってしまった、ということ、なるべく周囲の方にも共有して、相談して、皆で悩んでいけるような体制を整えていくことも重要だと思います。

保護者の方

特性に合った勉強の教え方としてどんな方法が良いかわからない

熊先生

なかなか難しいところですが、視覚支援や動機づけ^{*1}をあげる支援(好きなキャラクターをつかうなど)、身体の動きを伴う支援、歌を活用した支援、難易度を少しずつ下げていく支援など、様々な指導方法を試してみる→お子さんの取り組み方や正答のしやすさをモニターする→次の支援につなげるというPDCAサイクル^{*2}を回していくことが重要かと思っています。

※1動機付け：「人が行動する原因となり、目標に向かって維持するための過程」

※2PDCAサイクル：Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返して、継続的に改善する方法のことです。

保護者の方

高校の通級について知りたい

巡回教員

東京都教育委員会のHPに都立高校の通級指導について詳細が掲載されています。そちらの方をご覧ください。
(https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/high_school/special_support_resource_rooms.html)

保護者の方

環境を整えることは大切だが、何か必要な本人にきいてもわからない

熊先生

言語化できない場合は、お子さんの行動のうまくいっている場面とそうでない場面を分析して、なぜうまくいっているのか必要なことを見出していくことが重要かと思っています。学校や、支援機関など複数人で考えていくことも重要です。

保護者の方

助けを求める力について知りたい

熊先生

援助要求の仕方をご本人と相談して、決めていくことは重要かと思っています。言葉に限らず、HELPカードやHELPサインなど、お子さんが取り入れやすい形を模索できると良いと思います。

※文面での回答になるため、必ずしも十分には伝わらない部分や、物足りなく感じる部分があるかもしれませんがご容赦ください。何か悩みごとや質問等ございましたら、どのようなことでも構いませんので、特別支援教室担当の教員へご相談ください。